

## 5. 災害文化の伝承

### (1) 防災授業等の実施

#### ① 防災授業（絵本活用等）

ア. 豊岡市教育委員会が作成した「台風 23 号に係る防災教育資料」（全幼稚園、小学校・中学校に配付）の活用

教育課程に位置づけ 10 月 20 日（メモリアルデー）を中心として、資料を活用した授業を全ての小・中学校で実施。幼稚園においても防災教育資料を活用し、防災教育を実施。

\* 詳細については、別途、市教委から資料提供予定

イ. 絵本「プラボン」の教材化

幼稚園・小学校で読み聞かせを実施

#### ② 2006 環境会議—新田プロジェクト E—の開催（別紙「プログラム」）

防災・減災、地域の環境のあり方を考えるために開催。また、昨年度の「新田感謝祭」の発展事業として本年度も開催する。

- ・主 催 新田環境会議実行委員会、新田小学校
- ・日 時 10 月 29 日（日）8 時 50 分～
- ・会 場 新田小学校

#### ③ 子ども同士の交流活動等

平成 18 年 7 月の豪雨で被害を受けた長野県岡谷市との交流

ア. 寄書き・励ましの手紙の送付（H18.9.4）

豊岡市立 6 小学校、2 中学校 → 岡谷市立 3 小学校、2 中学校  
（長野県岡谷市立上の原小学校、川岸小学校、湊小学校、  
岡谷西部中学校、岡谷南部中学校）

イ. 鉛筆・ノートの送付（H18.9.14）

新田小学校児童会の取組みが豊岡南中学校、豊岡高等学校に広がり、  
3 校での取組みとなる

新田小学校児童会、豊岡南中学校有志、豊岡高等学校有志

→ 岡谷市立上の原小学校

ウ. お礼の寄書きの受理（H18.9.28）

川岸小学校 → 三江小学校、豊岡小学校

# 2006 環境会議 — 新田プロジェクト —

考えよう新田の環境 ○コウノトリとともに ○災害を防ぎ・へらす

主催 新田環境会議実行委員会 豊岡市立新田小学校 新田幼小PTA 新田小児童会

■ 開催日 平成18年 10月29日(日)

■ 開催時間 8:50~14:30

□ 会場 豊岡市立新田小学校

## 開催プログラム

### エコサミット(環境集会) 3年生から6年生発表

体育館

- 8:50 オープニング
- 9:00 3年生 水害に対する備え
- 4年生 六方の川ものごと
- 5年生 六方田んぼとコウノトリ
- 9:50 6年生 治水と自然保全

### 基調講演 5・6年生児童、保護者、地域住民

10:00~11:10

演題 「コウノトリと共生するには」

講師 保田 茂 神戸大学名誉教授

コウノトリ野生復帰推進協議会会長 食教育あり方検討委員会会長

兵庫県農漁村研究所代表

主な著書 日本の有機農業 都市と農村を結ぶ 国際競争下の農業・農村改革

ごはん万歳 他

### パネルディスカッション 5・6年生児童、保護者、地域住民

11:20~12:30

テーマ 「コウノトリと共生するには」

コーディネーター 保田 茂

パネラー

6年生

6年生

中学生

新田地区区長会長

農業従事者・河谷区長

コウノトリ郷公園

実行委員会委員長

### 3階各教室

#### 環境講座 1~4年生児童

10:00~12:30

- ぐらっときたらどうすればいいの？
- いざというときには！～台風23号を教訓にして～
- 六方川の自然(水中編)
- 六方川の自然(陸上編)
- 三開山
- コウノトリの保護
- コウノトリの観察
- 新しい農業の取組

子ども防災監  
豊岡南中1年生  
六方川を考える会  
六方川を考える会  
「みひらぎの森」委員会  
コウノトリ郷公園  
パークボランティア  
河谷営農組合

#### 昼食 災害と食を考える —新田のお米を食べる—

12:30~13:20

#### プラボン祭り(植樹祭)

13:30 2年生 劇「プラボン」

1年生 ダンス「ダンシングプラボン」

14:10 植樹

14:20 合唱「ポプラの木のよう」

体育館・運動場

体育館

## (2) 夏休み子ども防災監養成講座の開講

- ・趣 旨 「災害リアリズムの徹底」は少年期における防災教育が効果的であると考えられる。  
学校における防災授業より一步進んだ講座の開講により、自助・共助による減災思想を育て、防災知識を深め、将来の防災リーダーとしての成長を期待する。また、夏休みの思い出づくりともする。
- ・日 時 7月28日(金)、8月4日(金)、8月10日(木)  
\*いずれも 8:30~17:20
- ・講 師 市長(又は防災監)、国土交通省豊岡河川国道事務所調査課長、豊岡測候所気象解説官、但馬教育事務所防災教育推進専門員、豊岡消防団女性団員、防災課職員、消防本部職員
- ・受講者 計50名
- ・講座概要 台風23号の様子、地震・風水害発生 of 仕組み、災害を小さくするための対策、非常食の炊出し・試食、DIG及び防災マップの活用、救急救命法、市長講話、意見交換

## (3) 豊岡消防団「水防工法訓練」の実施

- ・目 的 豊岡消防団では、水害の経験を風化させることなく、その教訓をこれからの水防活動に生かしていくため、水防工法訓練を行う。
- ・日 時 10月20日(金) 20時~21時30分
- ・場 所 神美小学校グラウンド
- ・内 容 積み土のう工、釜段工(予定)
- ・参加者 豊岡消防団 約100名  
[内訳] 水防指導員 28名(各分団 2名)  
一般団員 70名(各分団 5名)  
本 部 5名

#### (4) 「治水祈念の碑」の建立・除幕

台風23号により、尊い2人の命が失われた赤崎橋左岸たもとに「治水祈念の碑」が建立され、台風襲来から2年となる10月20日に除幕式が行われる。

事業主体は、日高町の江原、宵田、岩中、浅倉、赤崎、東構の6地区で構成する「日高町地区円山川上流直轄河川改修促進期成同盟会（事務局：日高総合支所地域整備課）」

- ・ 建立趣旨 この地でお亡くなりになった2人の方の慰霊と、地域住民の治水への願いを明らかにし、整備完了までの道のりを後世に残すため。
- ・ 建設費 遺族をはじめ地域住民（一口：500円）・企業（一口：5,000円）からの寄付金で賄う。（約150万円）
- ・ 石碑高 2.8m
- ・ 揮毫 石碑正面の「治水祈念の碑」の碑文は、同盟会依頼により市長揮毫
- ・ 場所等 豊岡市日高町浅倉 字道ノ上 面積：42.88㎡  
\*当該土地は周藤氏の所有。後日、市へ寄附予定
- ・ 除幕式 10月20日（金）午前7時～ 現地にて

祈念碑の裏面

平成十六年十月二十日、台風二三号により、この地にて二人の貴い命が失われた。

日高町野 周藤美加  
生野町口銀谷 瀧本高治

ここに慰霊とともに、治水整備への願いと誓いを込めて、治水祈念の碑を遺族、周辺住民の志により建立する。

平成十八年十月二十日

日高町地区円山川上流直轄河川改修促進期成同盟会  
揮毫 豊岡市長 中貝 宗治



(5) 電子紙芝居『こうちゃんそらをとぶーたいふうがきたのまきー』の制作

市立東保育園の園舎は、台風 23 号で床上浸水 1 m30cm の大きな被害を受けたが、地域やボランティアの協力により見事によみがえった。

この台風により被災した豊岡のまちや復旧・復興の様子を伝え、自然環境の大切さを訴えるため、園児と職員が合同で電子紙芝居を作成（動画約 12 分）した。

メモリアルデーとなる 10 月 20 日に、市のホームページ、KIDS（キッズのコーナーの中へ掲載する。

【あらすじ】

コウノトリの「コウちゃん」は、大空を飛ぶことを夢見ながら、このとりの郷公園を訪れる保育園児たちと仲良く遊んでいた。そこへ野生のコウノトリが訪れ、「ハチゴロー」と名付けられて住み着くようになった。

ある日、すごい雨と風を伴って大きな台風が豊岡のまちを襲った。避難所へ逃れた「けんたくん」は、不安で胸がときどきした。そして、『コウちゃんはどうしているのだろう』と郷公園のコウノトリたちのことが気がかりだった。

台風が過ぎた次の日、ハチゴローは空を飛んでびっくりした。豊岡のまちが泥の中に沈んでいたのだ。

『僕、もう飛べないの。豊岡のまちはどうなっちゃうの』

ハチゴローからまちの様子を聞いたコウちゃんは、不安がつるばかりだった....。

(別紙参照)